



CypherTec Corporate Profile

Cypher_{TEC}

「価値」を守るという

役目を果たす



サイファー・テック株式会社

私たちの社名であるサイファー・テックとは、情報セキュリティの実現に必須である「暗号技術」を意味しています。その名の通り、独自開発の暗号利用技術や複製防止技術に基づいたソフトウェア製品を提供する企業として、エンターテインメント分野・ビジネス分野の幅広いお客様にご愛顧いただいています。

近年では、創業以来磨き上げてきた情報セキュリティに関するスキルとノウハウを用いて、サイバーセキュリティの分野でもサービスを提供しています。

これらのサービスを通じてお客様の大切な「価値」をお守りするとともに、デジタル文化の健全な発展とその利便性を安心して享受できる社会の実現に邁進していきます。

CONTENTS

CypherTec Inc.	..2-3
Service	..4-5
Entertainment/Business	..6
Product Lineup	..7
CyberSecurity	..8-9
Minami Lab	..10-11
Message	..12-13
History	..14
Access	..15

安全なデジタルコンテンツの 配布を可能に

サービス概要

日本の情報は日本の技術で守りたい。

そんな想いから製品開発に取り組んできたサイファー・テックは、
独自開発にこだわったDRMソリューション「CypherGuard」を
提供し続けてきました。

DRMとはDigital Rights Management(デジタル著作権管理)の頭文字をとった
もので、文書・画像・動画・音声などのデジタルデータに対し、暗号化などを
施して違法コピーや流出を防ぎ、正規流通を促進させる仕組み、およびそれに
利用されるテクノロジーを指します。

CypherGuard の特長

「暗号利用技術」「ライセンス管理機能」「画面複製防止機能」(*)という
3つの要素を駆使して、お客様のデジタルコンテンツや重要情報を高いセキュ
リティレベルで保護できることが特長です。また、製品バリエーションが豊富
なうえ、様々な運用形態にも対応しており、お客様の多様な運用ニーズに合わ
せてご利用いただける点も高く評価されています。

利用シーンとして、電子書籍や動画などのデジタルコンテンツの著作権保護に
お使いいただいているほか、近年では企業や組織の重要情報・知的財産の漏え
い対策として活用いただく機会も増えてきています。

また、長年のDRM 技術の研究開発で培ってきた知見・経験をもとに、アプリ
のセキュリティ診断サービスも提供しています。

※画面複製防止機能はWindows 版・Mac 版のみの
対応となります。



Entertainment

書籍や映像をデジタルコンテンツとして配信することが当たり前の世の中になりました。

コンテンツの配信は、配信事業者・ユーザー双方にとって大きなメリットをもたらす一方、著作権侵害や販売機会の喪失にもつながる恐れのある“違法コピー”の問題が常に付きまといまいます。

CypherGuardはコンテンツを閲覧できるユーザーをコントロールすることで違法コピーのリスクを低減し、お客様の安全な配信ビジネスの確立を支援します。また、コンテンツに期間制限を設けることもできますので、“試し読み”や“レンタル”といったビジネスモデルも実現できます。

エンターテインメント分野では、電子書籍・動画コンテンツなどの配信事業者様に広くお使いいただいています。

CypherGuard エンターテインメント分野での活用



CypherGuard ビジネス分野での活用

たとえば製造業において機密事項となる設計図面や技術マニュアルなどの重要知財。

あるいは教育現場における名簿・成績表・連絡先などの個人情報。これらに代表される機密情報・重要情報をデジタルデータとして扱うことは円滑な企業活動を促進しますが、万が一情報が漏えいした場合、ライバル企業へのノウハウ流出・多大な事故対応コスト・社会的信用の低下など、大きな損害をこうむるリスクがあります。

CypherGuardは、「ライセンス管理機能」による閲覧者・閲覧期間の制限や、スクリーンショットなどによる画面複製の防止をすることで、企業の機密情報・重要情報を保護します。また、文書の閲覧を社内ネットワークに限定する機能や閲覧権限を遠隔で消去する機能なども用意しており、様々な情報漏えいのリスクに対応します。

ビジネス分野では、製造業・インフラ事業・官公庁などのお客様にお使いいただいています。

Business

CypherGuard 製品ラインナップ

目的に合わせてお選びいただける豊富なラインナップをご用意しています。デジタルコンテンツや機密情報を様々な角度からガードし、お客様のビジネスをバックアップします。

既製アプリ

CypherGuard PDF

PDFファイルを強固なセキュリティでガード。電子書籍の保護はもちろん、ビジネスシーンでも大手精密機器メーカーや公共インフラ企業などでの採用実績があります。

CypherGuard EPUB

ご要望の多かったEPUBビューアーをご用意しました。EPUBのライブラリとしても提供できますので、CypherGuard SDKと組み合わせて独自のDRM付きEPUBビューアーを開発することも可能です。

CypherGuard Player

動画や音声コンテンツの安全なダウンロード配信を実現する製品です。再生速度の変更も可能ですので、“タイパ”重視のユーザーにも訴求できます。

組み込み型製品

CypherGuard SDK

「暗号化データの復号機能」「ライセンス管理機能」「キャプチャ防止機能」を有するアプリの開発を支援。暗号化データの作成にはLinuxでも動作するSDKを提供します。CypherGuard 既製アプリでは対応していないファイルフォーマットへの対応や、自社ブランドでアプリを提供される場合に最適です。

CypherGuard AppRights

ソフトウェアのライセンス認証を実現し、価値あるソフトウェアの適正な流通を支援するSDKです。ライセンス管理を本ソリューションに任せることで、開発者は本来の機能開発に集中できます。

CYBER SECURITY

DRM事業を進めるにあたっては、暗号技術や耐クラッキング技術、リバースエンジニアリングに関する知見などが必要です。

そしてこれらはサイバーセキュリティの領域でも生かせるものです。

長年のDRM製品の提供で培ったノウハウをもとに、お客様のセキュリティリスク軽減に寄与します。

攻撃者視点で組み立てられたサービス

Critical Hit

ハッキング技術を駆使

独自の攻撃スクリプト

未知の脆弱性を探る

CypherGuardian

実際の攻撃手法を体験

攻撃者の意図も解説

リアルタイムに攻撃を変化



スマートデバイスの普及を背景にアプリの利用が拡大・一般化し、その重要性も年々高くなっています。

この状況は、アプリを利用してビジネスを行う事業者にとって大きなビジネスチャンスとなる一方、アプリからの個人情報の抜き取りやゲームアプリにおける“チート”など、アプリの脆弱性を狙った不正行為への対処にも気を配る必要があります。

本サービスでは、モバイルアプリケーションのセキュリティ診断におけるグローバルスタンダードとなっているOWASP MASTGをベースにした網羅的な診断を行います。

自動ツールを使用するだけでなく、経験豊富な診断員が独自の攻撃用スクリプトを作成して手動診断を行います。

チェックシートに沿った原理的な脆弱性の指摘にとどまらず、アプリの脅威シナリオに応じた現実的に想定されるリスクに基づいて評価、報告を行います。

モバイルアプリのセキュリティ診断だけでなく、OWASP ASVSやOWASPサーバーレスTop10に準拠したWebアプリの診断や、スマホゲームのチート耐性診断も実施します。



サイバー攻撃はますます巧妙化し、ランサムウェアや標的型攻撃の被害を報じるニュースを見ない日はないほどです。

本トレーニングでは、現実のサイバー空間で使用されている手法やマルウェアによるサイバー攻撃をサイバー演習場で体験し、その対処方法を学ぶことができます。

イスラエルのサイバーセキュリティ対策企業で経験を積み、刑事事件で警察・検察に協力した経験もあるセキュリティスペシャリストらが講師を務めます。

朝、波乗りしてから出勤する。
プログラミングの傍らで農業に汗を流す。

サイファー・テックでは、価値ある製品やサービスの開発に不可欠なのは社員の“クリエイティビティ（創造力）”と考えています。社員一人ひとりがどのように働き、どのように暮らすのかを主体的に考えることでクリエイティビティを育むとともに、社員主体のワークライフバランスの実現を図るべく、職場環境や制度の整備を進めています。その一環としてサイファー・テックでは、2012年5月に太平洋と清流と山とに囲まれた徳島県海部郡美波町にクリエイティブオフィス「美波Lab（ラボ）」を開設しました。

※その後、2013年に東京から美波町へ本社移転

コロナ禍を経て、リモートワークやテレビ会議が当たり前になった今日ですが、私たちが目指しているのは単に「自宅で勤務する」「遠隔地で勤務する」ということではありません。農作業・サーフィン・釣り・狩猟など、社員個人の趣味と仕事を両立させる“創造的ワークスタイル”を実現すること。それが、美波Labの目指す姿です。

半X半IT



代表取締役 吉田 基晴

1971年生まれ、徳島県海部郡美波町出身。
株式会社ジャストシステムなどを経て、
2003年東京でサイファー・テック株式会社の設立に参画。
2005年から代表取締役（現任）を務める。

代表挨拶

サイファー・テックは2003年の設立以来、暗号技術を核とした情報セキュリティ技術の研究開発に取り組んでまいりました。

今日、音楽、映像、ソフトウェア、書籍など、多くの媒体がデジタル化を遂げ、流通する時代となりました。社会生活でもビジネスシーンでもデジタル化は加速し、私たちの暮らしに深くつながっています。

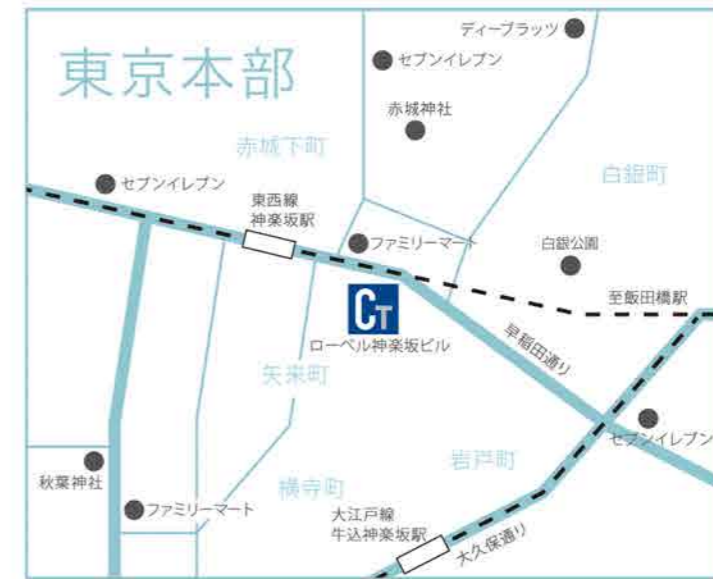
スマートフォンなどの高機能デバイスの普及もあり、個人がコンテンツを生み出し、時には自らがコンテンツとなり、SNSなどを通じて広く伝播する世の中です。そのような状況下で、今後さらに著作権や肖像権をはじめとした権利、プライバシー、安全が守られる仕組みがますます重要になると私たちは考えています。

サイファー・テックはデジタルデータが適切に守られ、快適に流通する仕組みを提供することにより、デジタル社会の健全な発展と、誰もがその利便性を安心して享受できる社会の実現に貢献してまいります。

HISTORY

- 2003年 2月 DRM製品の開発・販売を目的として東京都練馬区に設立
- 11月 動画/音声データの保護を実現するDRMサービス「CypherGuard for Movie」(現: CypherGuard Player) をリリース
- 12月 PDFファイルの保護を実現するDRMサービス「CypherGuard for PDF」(現: CypherGuard PDF) をリリース
- 2007年 2月 DRMのソフトウェア開発キット「CypherTec Security SDK」(現: CypherGuard SDK) をリリース
- 6月 事業拡張に伴い本社を東京都新宿区に移転
- 2009年10月 ソフトウェアのクラッキングに対する耐性を評価する「クラッキング耐性評価サービス」(現: Critical Hit) をリリース
- 2010年 4月 SDKでソフトウェアのライセンス認証を実現する「AppRights」(現: CypherGuard AppRights) をリリース
- 2011年 3月 CypherGuard SDKのAndroid版・iOS版・Mac版をリリース
- 2012年 5月 徳島県海部郡美波町にサテライトオフィス「美波Lab」を設立
- 2013年 5月 本社を東京から徳島県海部郡美波町へ移転
- 2014年 6月 脆弱性診断サービスCritical Hitの内容を拡充し、ゲームのチート行為に対する診断を強化
- 2015年 1月 遠隔制御により閲覧を禁止できる文書保護サービス「CypherGuard Leash」をリリース
- 9月 スマートフォンゲームの不正プレイを防止するチート対策SDK「CypherGuard AppTrusty」をリリース
- 2017年 8月 「CypherGuard AppTrusty」の提供を終了
- 2019年 4月 サイファー・テックの地方での取り組みがモデルになった映画『波乗りオフィスへようこそ』が公開
- 5月 金融機関アプリのセキュリティ診断サービスを開始
- 2020年12月 セキュリティトレーニングサービス「CypherGuardian」の提供を開始
- 2021年 8月 モバイルアプリにおけるセキュリティ診断手法のリモート・トレーニングサービスを開始
- Epub向けDRMサービス「CypherGuard EPUB」をリリース
- 9月 脆弱性診断サービスCritical Hitを「情報セキュリティサービス基準適合サービスリスト」に登録
- 2022年 4月 一般社団法人ABJに賛助団体として参加

ACCESS



商号 サイファー・テック株式会社 (英文表記: CypherTec Inc.)
 設立 2003年2月
 資本金 2,000万円
 代表 吉田 基晴
 拠点 ■東京本部
 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂6丁目46番地 ローベル神楽坂ビル9F
 TEL: 03-5206-5705 FAX: 03-5206-5706
 ■本店・美波Lab
 〒779-2303 徳島県海部郡美波町恵比須浜字田井266番地
 ■徳島開発部
 〒770-0847 徳島県徳島市幸町1丁目21番地 K-クレスト I ビル2F
 ※当社へのお問い合わせは東京本部へお願いします



<https://www.cyphertec.co.jp>

サイファー・テック株式会社